

平成22年6月18日

報道関係者各位
プレスリリース

(特)アントレプレナーシップ開発センター
京都市中京区西方寺町160-2 船越メディカルビル3F
TEL:075-468-8907 FAX:075-468-8908

国際コンペ:グローバル・エンタプライズ・チャレンジ 2010 日本チームが The Most Creative Award を受賞!

【事業概要】

グローバル・エンタプライズ・チャレンジ(GEC)は、若者の科学技術やイノベーションへの興味を喚起するために、高校生(15歳~19歳)の青少年を対象に、2001年に始まった世界レベルでの24時間コンペです。NASA(米航空宇宙局)やWIPO(世界知的所有権機関)も支援している事業で、今年の国際大会は昨年度の入賞チームを派遣したインドネシアのSurya Institute(SI)とUnited in Diversity Forumがホストとなり、6月14日~15日にインドネシアのバリで開催されました。

日本では2004年からアントレプレナーシップ開発センターが共催者となり、国内予選を実施して国際大会に代表チームを送っていますが、今年は、3月29~31日にかけて開催された国内予選に10チームが参加し、同志社国際高校のチームが入賞。次点の神戸市立葺合高等学校からの1名と、合計6名が国際大会に出場しました。

本イベントでは、参加者はチームを組んで、当日出される課題に挑戦し、解決策を事業提案書にまとめビジネスプレゼンテーションと一緒に24時間以内に提出します。最終的に、①創造性・革新性、②資金面と製造の実現性③顧客ニーズと市場性④コミュニケーション能力の4つの要素を中心に審査員が総合的に判断し、入賞チームを決定します。今年の国際大会には、14カ国から代表チームが参加し、互いに交流しながら、成果を競いあいました。14人の審査員の評価の結果、1位がオーストラリア、2位が日本で”The Most Creative Award”を受賞。3位はウェールズでした。日本チームが、総合で3位以内に入賞するのは今回が初めてです。

本活動は、アントレプレナーシップを發揮し、かつ科学技術の知識を活用して、世界レベルの課題を解決し社会貢献できるようなグローバル人材の育成を目的としたもので、過去に何度も入賞しているオーストラリアやウェールズ、今回の開催場所となったインドネシアや隣国のシンガポールなどは、このような教育に国を挙げて取り組んでおり、それを産業界が積極的にバックアップしています。

日本では、学校教育でこのような取組がほとんどないうえ、語学の上でも大きなハンディを抱えています。グローバルなビジネス競争のなかで、今後リーダーシップをとって世界と渡り合える人材が育っていないことに危機意識を持つ人も多く、今回の入賞が、今後このような活動に参加する人が増えるきっかけになればと考えています。

参考サイト:<http://gec2010.suryainstitute.org/>



<プログラム>

6月14日(月)

- 08:00 グループワークショップ Mini Science Quest
- 11:00 昼食
- 13:30 開会式準備
- 13:45 GEC2010 開会式
- 14:00 チャレンジの発表

6月15日(火)

- 12:30 ビジネスプランの提出期限
 - 14:00 プレゼンテーションの提出期限
- <ブレイク>
- 21:00 入賞チームの発表
 - 22:00 閉会



<課題>

“To produce a working model of an innovative game for a family of four (2 adults + 2 children aged 8-12) that addresses the issues and challenges facing the world in 2030.” (2030年の世界が直面している課題に取り組む家族(大人二人と8歳~12歳の子供二人)むけの革新的ゲームの試作モデルを開発すること。)

<現地ホスト>

Surya Institute (SI), <http://www.suryainstitute.org/en/index.php>

United in Diversity (UID), <http://www.unitedindiversity.org/>

Bakrieland, <http://www.bakrieland.com/>

<スポンサー>

Pullman Hotel & Resort, Medco Energi, BNI(Bank Negara Indonesia), Singapore Science Center, Official Telecommunicatic, TelkomIndonesia

【日本主催者情報】

<主催者>

特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

<協賛>

ガルーダ・インドネシア航空、株式会社島津製作所、住友スリーエム株式会社、株式会社大貴、日東薬品工業株式会社

<後援>

経済産業省近畿経済産業局、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都府私立中学高等学校保護者会連合会、京都府立高等学校PTA連合会、京都商工会議所、財団法人全国商業高等学校協会、財団法人大学コンソーシアム京都、青少年と科学の会(社団法人京都工業会、社団法人京都経済同友会、社団法人発明協会京都支部)、独立行政法人科学技術振興機構、独立行政法人国立高等専門学校機構、京都新聞社、日本経済新聞社京都支社

【問合先】

(特) アントレプレナーシップ開発センター

理事長 原田 紀久子

〒604-0866 京都市中京区西方寺町 160-2 船越メディカルビル 3F
TEL:075-468-8907 FAX:075-468-8908 info@entreplanet.org



前夜祭で



他国の学生と混じってグループをくみ、科学クイズに挑戦！



オープニングセレモニーのあと、戦略会議



くたれきた後、審査結果を待つ間に歌を披露する日本チーム

